

# 教えて！ ドクター Q&A

(株)宣通 (052) 979-1600 広告

**Q** 健診で高血圧を指摘されました。しかし、なにも症状は見られません。このまま様子を見ていて大丈夫でしょうか。



**A** 高血圧症は特異的な症状が出ないことが多い、「静かなる殺人者」とも呼ばれ、自分の身体に異常を感じる頃にはかなり病状が進行しています。今でも医者にかかつたことのない人が突然倒れることがあります。その原因は高血圧であることが少なくありません。高血圧の放置は、脳卒中（脳梗塞、脳出血、くも膜下出血など）、心臓病（冠動脈疾患、心肥大、心不全など）、腎臓病（腎硬化病変）および大血管疾患の原因となります。高血圧治療の目的は、

たらされる脳心腎など高血圧性合併症の発症、進展、再発を抑制し、死亡を減少させることであります。良い降圧薬がなかつた時代には高血圧による脳卒中で倒れる方が沢山みました。

健診で高血圧を指摘されたら、すぐに循環器専門医を受診して下さい。血圧には日内変動、季節変動があり、さらに白衣高血圧、仮面高血圧、早朝高血圧などがあります。閉塞性動脈硬化症による左右差、上下差もあります。胸部レントゲン、心電図、頸動脈エコー、心エコー、足首・上腕血圧比、脈波伝播速度などの検査を行ない、治療法が検討されます。

名古屋大学大学院医学研究科修了。医学博士。米国ニューヨーク市Francis Delafield Hospital、Harlem Hospital Center外科レジデント。ミネソタ州Mayo Clinic胸部心臓血管外科留学。金沢医科大学心臓血管外科講師、名古屋大学胸部外科助手、名古屋第一赤十字病院胸部外科部長。1997年4月より現職。



院長 早瀬 修平  
(はやせ希望クリニック)